

八雲町のまちづくりのテーマは、町民憲章の理念にある「道南北部の中心都市にふさわしいまちづくり」、「人口と雇用が維持されにぎわいのあるまちづくり」、「町民と行政が支え合う協働のまちづくり」であります。

目指すべき目標に到達するためには多くの課題や困難がありますが、町民と議会・行政の知恵と情熱をもって前に進むことが何よりも重要であります。未来に向かって燦然と輝く八雲町実現のため、議員ならびに町民皆さまのなご一層のご協力をお願い申し上げます。

以下、新八雲町総合計画の項目ごとに基本的な考え方と具体的な方針を申し上げます。

1. 豊かで美しい自然を次代に伝える環境のまちづくり

(1) 自然環境の保全

豊かな自然資源に恵まれたまちとして自然環境を保全し、適切な森林の整備と野生生物の保護・活用に努めてまいります。

また、環境保護、公害防止、地球温暖化対策への取り組み、

組み、町の事務・事業による温室効果ガス排出量の削減にも引き続き努めてまいります。

再生可能エネルギーの導入については、4月からの電力の小売り自由化や現在進められている鉛川地区における地熱開発構想など、八雲町にとってプラスの材料が出そろいつつあります。

こうした動きをしつかりと捉えて再生可能エネルギーの導入が八雲町のまちづくりに果たす意義や適切な導入方法などを町内の意見を取り入れながら、導入促進に対する基本的な考え方をとりまとめてまいります。



(2) 治山・治水の推進と河川・海岸の整備

保安林、地すべり対策、災害避難路を含めた治山事業や河川、排水路整備など治水事

業については、自然環境に配慮しながら計画的に取り組んでまいります。また、自然災害等への迅速な対応に努め、災害復旧事業も活用し施設整備を行なってまいります。

海岸保全事業については、海岸の老朽化対策など関係機関に要請してまいります。

2. 雇用が確保される活力ある産業集積のまちづくり

(1) 農林業の振興

八雲町の農業を足腰の強い産業としていくための政策（産業政策）と、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための政策（地域政策）を推進し、国の制度を積極的に活用しながら、生産者や関係機関等と一体となつて、TPP対策を含めて地域課題の解決に向けて取り組んでまいります。

具体的には、農地集積を図りながら土地利用、担い手対策、農業基盤整備の推進と、新規就農者の受け入れ強化を図るとともに、協業化、法人化等の多様な経営体のあり方について継続して検討を進めてまいります。

また、環境に配慮した家畜ふん尿処理対策の事業検討、家畜衛生対策の強化、地域農畜産物のブランド化および消費拡大、都市と農村の交流の取り組み、新規農作物の導入および拡大に向けた取り組みも継続して進めてまいります。

林業については、民有林や町有林の適正管理に努めるとともに、森林への理解を深める木育活動等を実施してまいります。また、公共建物などでの地域材利用の拡大、林業施策の集約化、機械化を通じて効率的な森林整備、生産基盤としての路網整備を推進してまいります。加えて、地域再生可能エネルギーのひとつである木質バイオマスの利活用について、各関係機関、企業、大学などと具体的な調査検討をしてまいります。

猟友会の協力によるヒグマやエゾシカなどの有害鳥獣対策については、関係機関・団体・住民組織の協力を得ながら総合的かつ安全性を重視した対策を実施していくとともに、ハンター後継者の育成に対する支援を実施してまいります。

(2) 水産業の振興
八雲町の水産業は、主力で

あるホタテ養殖漁業において、中国等への輸出の増大による価格の高騰から、水揚げ金額が大きく増加し過去最高の水揚げ金額となりましたが、依然としてザラボヤ等有害生物対策での厳しい労働環境は続いております。

また、漁船漁業においては引き続き海洋環境の変動によるイカや秋サケ、スケトウダラ等の不漁が続いており漁獲金額が低迷していることから、依然として厳しい状況にあります。

こうしたなかで、地先および回遊資源の回復や生産増大に向けた取り組みが重要であることから、関係機関・団体と連携して安定生産に向けた資源づくりと漁場造成・資源管理を進めてまいります。

さらに、水産物の加工・流通・輸出対策として、水産物の安全・安心な供給体制や流通対策を図り、消費者ニーズに対応した経営の体質強化を進めるとともに、漁業者主体の消費拡大に向けた愛食運動の推進、また、担い手対策や水産加工業の振興など様々な角度から支援してまいります。

また、漁港整備事業についても、老朽化対策を要請してまいります。